

がんに備える

現在2人に1人はがんに罹患するといわれています。台風や地震などの自然災害と同じようにがんはひとを選ばず突然襲ってきます。がんを突然の災害ととらえ、がんと診断された時や、家族が罹患したときに慌てずに済むよう、事前に備えておくべき情報（がんの基礎知識、治療、医療費支援制度、仕事との両立、生活の備えなど）をまとめた冊子を紹介します。

一般社団法人がんと働く応援団（GHO）が作成・発行している、「**がん防災マニュアル**」です。ウェブサイトからPDFで無料ダウンロードできます。<https://www.gh-ouendan.com/ganbousai>

「青」の保存版、「赤」の働く女性版、「緑」の中小企業版があります。

女性は男性よりも若いうちからがんになる可能性が高いため、正しい知識を持ち、備えることが大切です。ぜひご覧になることをお勧めします。

乳がん看護認定看護師



がん患者の摂食嚥下障害

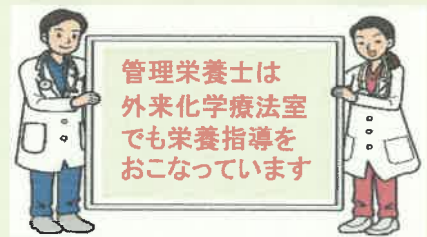
摂食嚥下障害看護認定看護師

がん患者は治療の影響により、口腔内のトラブルや食欲不振など、摂食嚥下障害をきたすことがあります。口腔内のトラブルは痛みを伴うことがあり、食事摂取が困難になると栄養状態が悪化し、易感染状態を引き起こします。

口腔内トラブル予防のポイントは ①**口腔のセルフケア** ②**定期的な歯科受診** ③**疼痛緩和**です。表面麻酔の入った含嗽液や軟膏・粘膜保護剤・鎮痛内服薬等で痛みを緩和しながら、できるだけ経口摂取を続けて栄養状態を保つことは治療の継続に繋がります。

当院では、食欲不振の方向けに「ユーカリ食」という食事を提供をしています。「ご飯の臭いがだめで食べられない」という場合は、主食を素麺やパンに変更するなど個別対応も可能です。補助栄養も多数揃っているので、食事にプラスして不足している栄養を補足することもできます。臭いや味覚の変化で食欲不振となった場合には管理栄養士に相談してみましょう。

がん患者の摂食嚥下のサポートをおこない、患者の治療の質を高め、QOLの維持・改善に繋がっていきましょう。



専門看護師の役割は、**実践・教育・相談・倫理調整・研究**です。

認定看護師の役割は、**実践・指導・相談**です。

このトピックスは、最新情報や皆様へのお知らせを発信する院内だよりです。

